

このメンテナンスガイドは、メンテナンスチェックリスト項目の詳細を記載しています。

[保管用]



アイルウォークα メンテナンスガイド

目次

この「メンテナンスガイド」を必ずお読みいただき、大切に保管してください。

この「メンテナンスガイド」を必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、「メンテナンスチェックリスト」に従って作業をすすめてください。

なお、交換後のトラブルなどに関しては、一切保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※この「メンテナンスガイド」による作業は、弊社契約の自社でレンタル、メンテナンスを行っている事業者様に限ります。

※メーカー修理対応時の修理品の返送料は、お客様のご負担となります。

※製品の品質向上のため仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

正しいメンテナンス作業のながれ	1
I. バッグの点検	1
II. スプレー塗料の使用(外観点検)	3
III. シール系統の外観点検	4
IV. バネ系統の点検	5
V. ネジ系統の点検	6
VI. 樹脂パーツ①の点検	7
VII. 樹脂パーツ②の点検	8
VIII. 車輪系統の点検	9
IX. ブレーキ系統の点検	10
X. 溶接部分の点検	11
XI. リベット部の点検	12
XII. フレームの点検	12
XIII~XIV. 駐車用ストッパ系統の点検	13
XV. フレームの開閉点検	14
XVI. ハンドルの高さ調節部点検	14
XVII. 走行点検	14
XVIII. 点検の終了にあたって	14
車体の保管・お手入れ・廃棄について	15

このガイドに関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、
弊社サービス係までお問い合わせください。



株式会社 **アイルリンク**
〒700-0971 岡山市北区野田 3-16-1 下電開発ビル 2F

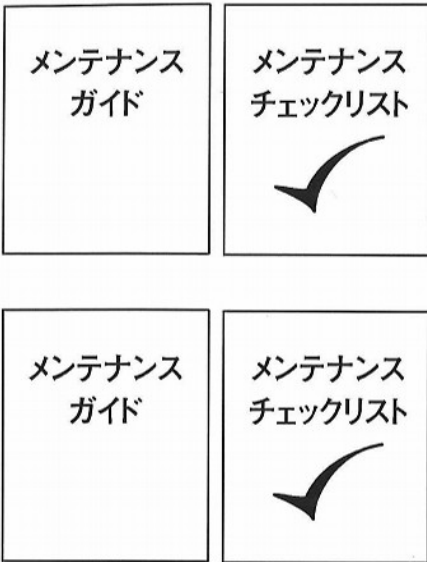
TEL **086-805-4550**
FAX **086-805-4551**

正しいメンテナンス作業のながれ

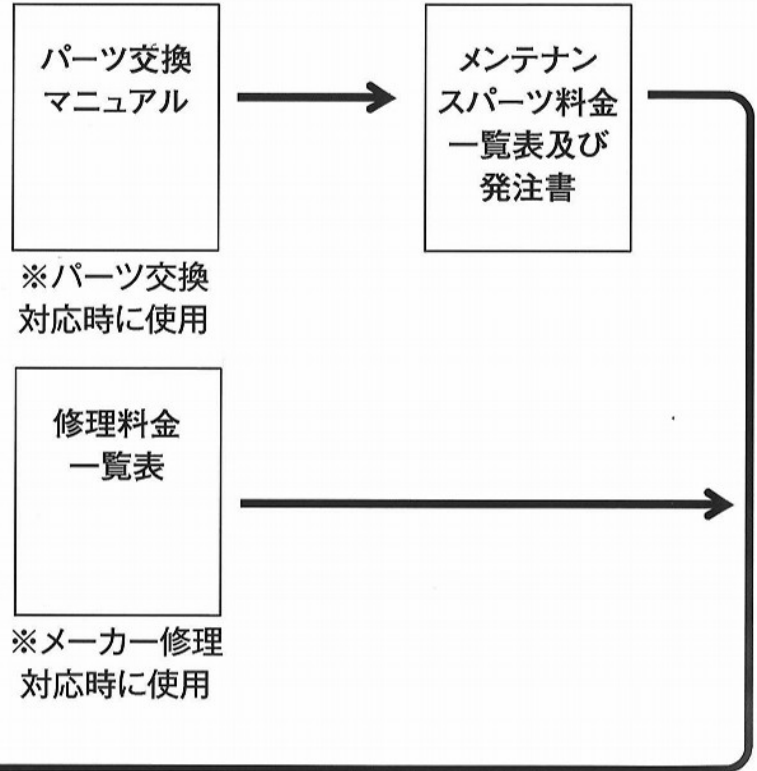
メンテナンスチェックリストに従って点検作業を行います。購入年月日、実施日、回数及び実施者の各項目に記入し、メンテナンスチェック項目に沿って点検作業を進めてください。

点検作業のなかで、異常や劣化などが見つかった場合は、必要に応じて修理料金一覧表・メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書・パーツ交換マニュアルを参照し、メーカーに修理を依頼するもしくはパーツ交換マニュアルを十分にご理解いただき、パーツ料金一覧表よりパーツを取り寄せ、交換を行ってください。交換までの作業をひと通り終了した後、その車体を再度メンテナンスチェックリストに従って点検作業を行い、異常や劣化のない車体に仕上げてください。

① 点検作業を行う



② 必要に応じてパーツの交換、修理を行う



③ 再度点検作業を行います。異常がなければメンテナンス完了です。異常があった場合は②を行ってください。

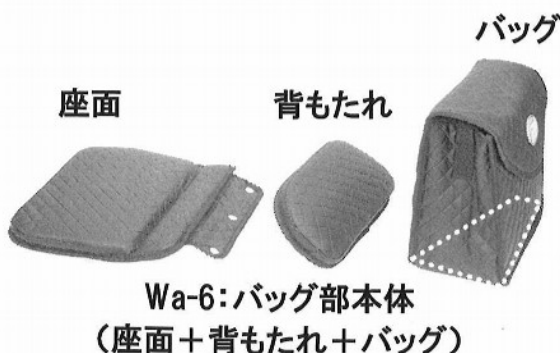
メンテナンスチェックリストに従って点検作業を行います

I. バッグの点検

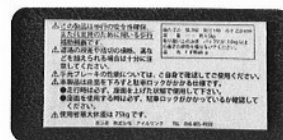
① Wa-2: 取扱説明書のバッグ内の有無
● バッグに入っているか点検してください。
(ない場合はメンテナンスパーツ料金一覧表からお取り寄せください)



Wa-2: 取扱説明書



- ② Wa-6: バッグ部本体(座面+背もたれ+バッグ) 全てのホックとマジックテープを止められる
- ③ Wa-6: バッグ部本体(座面+背もたれ+バッグ) のほつれ、破れ、汚れがない



④ Wa-7: 底板の有無、割れがない



◎Wa-6: バッグ部本体(座面+背もたれ+バッグ)の破れがある場合は、交換してください。(メンテナンスパーツ料金一覧表参照)
 ※交換は1セットになります。座面、背もたれ、バッグの個別発送は行っておりません。

●各部のホックが正常に付いているか、またホックをとめることができるか点検してください。

◎ホックがとれていたり、きちんととまらない場合は、交換してください。(パーツ交換マニュアル6ページ参照)

⑥Wa-8: ハンドル用ウレタンスポンジの破れ、汚れがない

◎破れ、汚れのある場合は交換してください
 ※設計上、Wa-8: ハンドル用ウレタンスポンジ交換時にはL-34: ハンドルグリップの同時交換が必要となります
 (パーツ交換マニュアル7ページ参照)

⑤L-16: 傘止めバンド(ボタン式)の有無、ホックが止められる

◎止められない場合は交換してください
 (パーツ交換マニュアル7ページ参照)

⑦Wa-9: 肘掛け用ウレタンスポンジの破れ、汚れがない(左右2ヶ所)

◎破れ、汚れのある場合は交換してください
 (パーツ交換マニュアル8ページ参照)

⑧Wa-10・Wa-11・Wa-12: バッグ受け各フレームに傷や汚れがない

◎傷、汚れのある場合は交換してください
 (パーツ交換マニュアル14～15ページ参照)

⑨Wa-10・Wa-11・Wa-12: バッグ受け各フレームにゆがみがない

◎ゆがみのある場合は交換してください
 (パーツ交換マニュアル14～15ページ参照)

お手入れについて

●Wa-6: バッグ部本体(座面+背もたれ+バッグ)に汚れのある場合は、やわらかい布などで拭き取ってください。

●シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないでください。

◎傷のある場合は、交換してください(パーツ交換マニュアル6ページ参照)

◎汚れが落ちない場合は、紫外線によりバッグ・座面が変色していることがあります。使用過程の変退色による原因も考えられます。交換してください。

(パーツ交換マニュアル6ページ参照)

取り外し方法

〈バッグ〉

バッグを垂直に持ち上げて取り外します。

↑ バッグを垂直に
持ち上げる



〈背もたれ〉

背もたれのホック1ヶ所をはずします。

●背もたれうしろは袋状になり、背もたれパイプに差し込んだ状態になっています。袋状の内側からホック1ヶ所を外し背もたれを持ち上げてください。



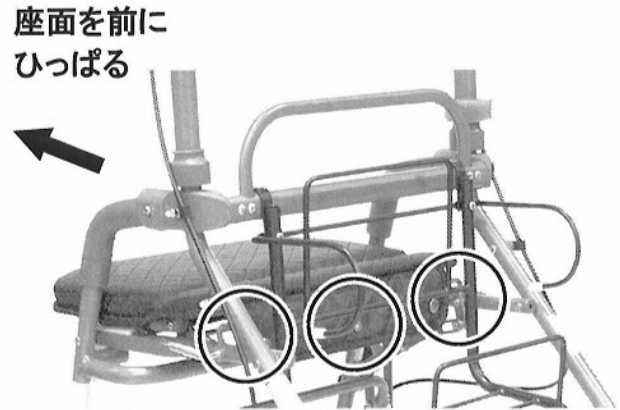
↑ 背もたれを
上にひっぱる

背もたれホック1ヶ所

〈座面〉

座面うしろ側のホック3ヶ所を外します。

●座面は袋状になり、座面パイプに差し込んだ状態になっています。座面を前に引っ張り、座面パイプから抜いてください。



← 座面を前に
ひっぱる

座面ホック3ヶ所

II. Wa-13:スプレー塗料の使用(外観点検)

※作業に取りかかる前に、車体からWa-6:バッグ部
本体(座面+背もたれ+バッグ)を取り外してください。

- ①フレーム本体に塗装剥げや傷がついていない
- ◎塗装剥げや傷がある場合は、Wa-13:スプレー塗料
で補修をしてください。
(パーツ交換マニュアル8ページ参照)



座面 背もたれ バッグ
Wa-6:バッグ部本体
(座面+背もたれ+バッグ)



Wa-13:スプレー塗料



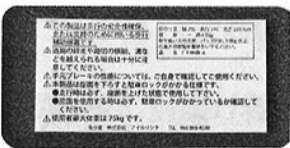
Wa-6:バッグ部本体
(座面+背もたれ+バッグ)
を取り外した状態

Ⅲ.シール系統の外観点検

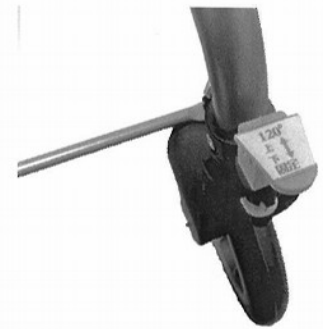
- 各部のシールが剥がれ落ちていたり、汚れていないか点検してください。
- ◎シールが剥がれ落ちていたり、汚れている場合は、交換してください。
(パーツ交換マニュアル9～10ページ参照)



③13:ブレーキシール(左右2枚SET)
(ハンドル部左右2ヶ所)



④Wa-15:
本体表示シール
(バッグ内の底板
1ヶ所)



①Wa-14:前輪キャスター
シール(左右2ヶ所)



②10:反射シール
(前後左右4ヶ所)



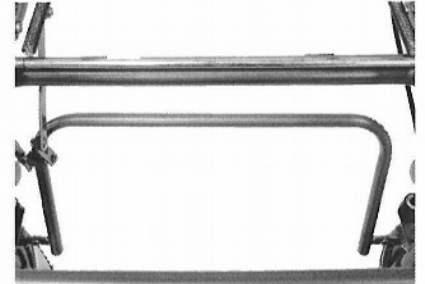
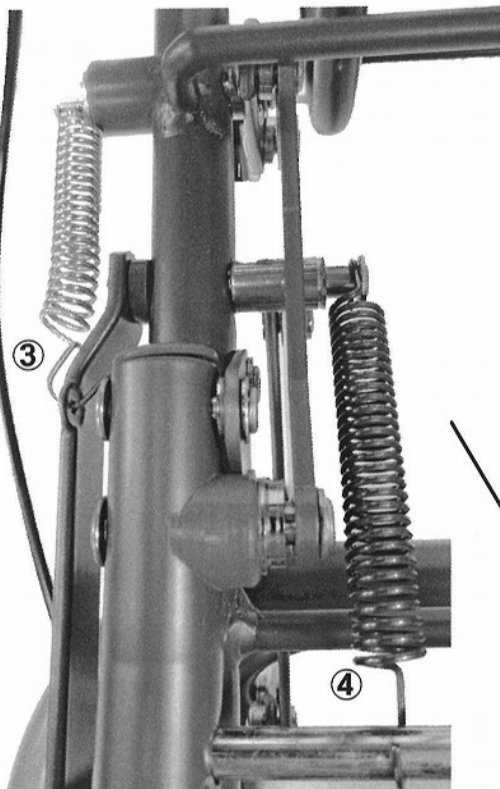
⑤Wa-16:注意シール
(ハンドル部右パイプ部1ヶ所)



⑥15:ブレーキ調整シール
(左右2ヶ所)

IV.バネシステムの点検

- 各部のバネのはずれ、錆などの点検をしてください。
- バネが伸びて引きが悪くなっていないか点検してください。
- ◎バネが外れて無かったり、錆びている場合、新しいバネと交換してください。
(パーツ交換マニュアル10～11ページ参照)

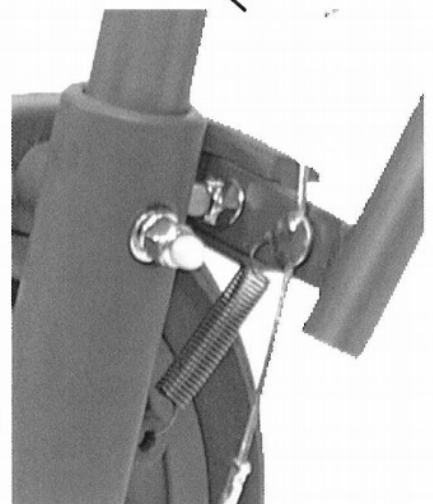


⑤座面部丸棒(1本)
※メーカー修理となります
(修理料金一覧表参照)

③Wa-19:本体折りたたみバネ
(左右2ヶ所)
④Wa-20:座面折りたたみバネ
(左右2ヶ所)



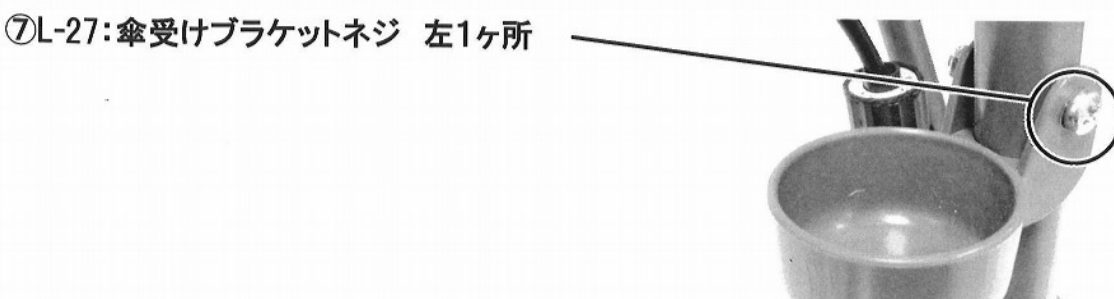
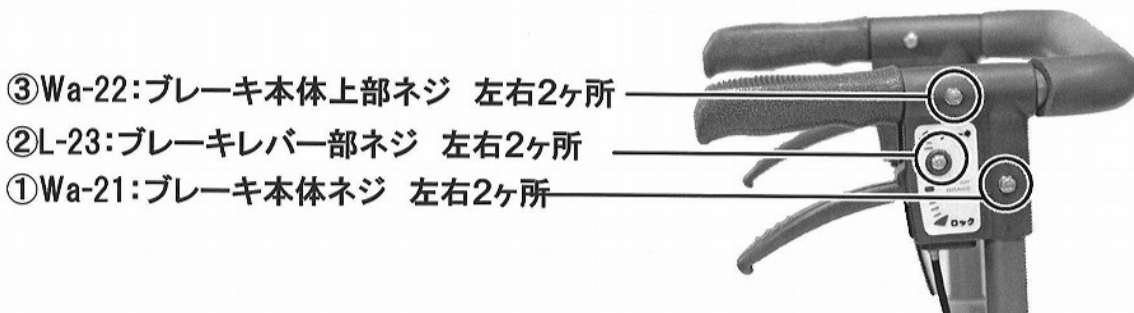
②Wa-18:前輪
キャスターバネ
(左右2ヶ所)



①Wa-17:後輪
ブレーキバネ
(左右2ヶ所)

V.ネジ系統の点検

- 各部のネジの脱落やゆるみの点検をしてください。
- ◎ネジがはずれたり、ゆるみがある場合は締め直し、ゆがんだり錆びている場合は交換してください。
(パーツ交換マニュアル12～15ページ参照)

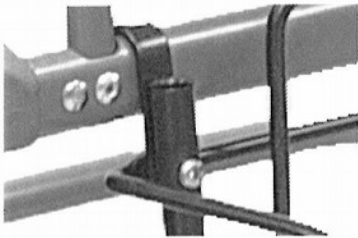


VI.樹脂パーツ①の点検

各樹脂パーツの割れ、汚れがないか点検をしてください。

◎割れがあったり、汚れなどが取れない場合は交換してください。

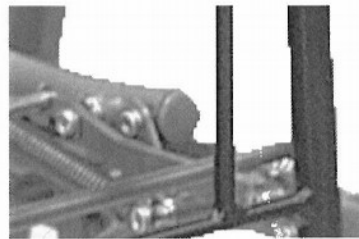
(パーツ交換マニュアル15ページ参照)



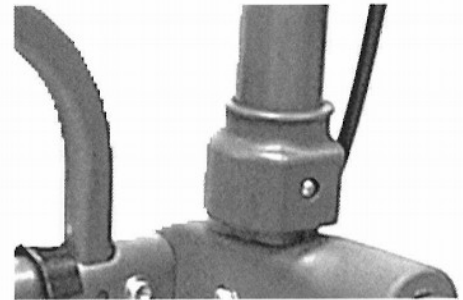
③Wa-31:パイプエンド
ツメ4分パイプ用
(カゴフレーム上部)
左右2ヶ所



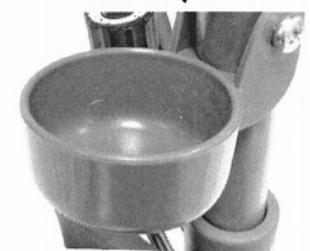
①Wa-30:パイプエンド
ツメ6分パイプ用
(座面受け部)
左右2ヶ所



②L-70:パイプエンド
ツメ5分パイプ用
(座面後部)
左右2ヶ所



④Wa-32:ハンドル高さ調節キャップ
(左右2ヶ所)



⑤Wa-33:傘受けブラケット
(左後脚1ヶ所)

VII.樹脂パーツ②の点検

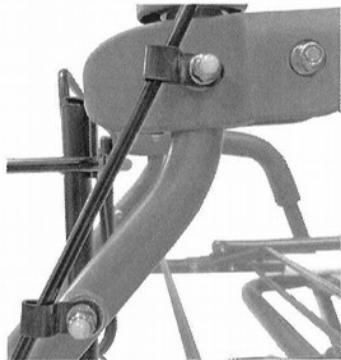
各樹脂パーツの割れ、汚れがないか点検してください。

◎割れがあったり、汚れなどが取れない場合は交換してください。

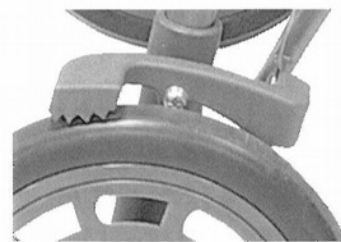
(パーツ交換マニュアル16～17ページ参照)



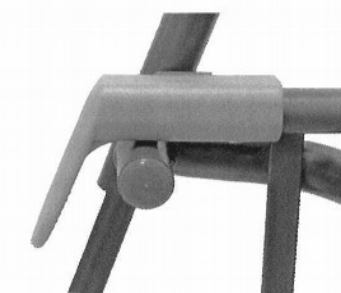
①L-34:ハンドルグリップ
(左右2ヶ所)



④L-38:ワイヤー流れ止め
(左右2ヶ所)



⑤Wa-35:ブレーキタイヤ押さえ
(左右2コSET)



⑥折りたたみレバー(左右2ヶ所)
※メーカー修理対応となります
(修理料金一覧表参照)



②Wa-34:ステッキ固定樹脂
(取付ネジ付き)(左1ヶ所)

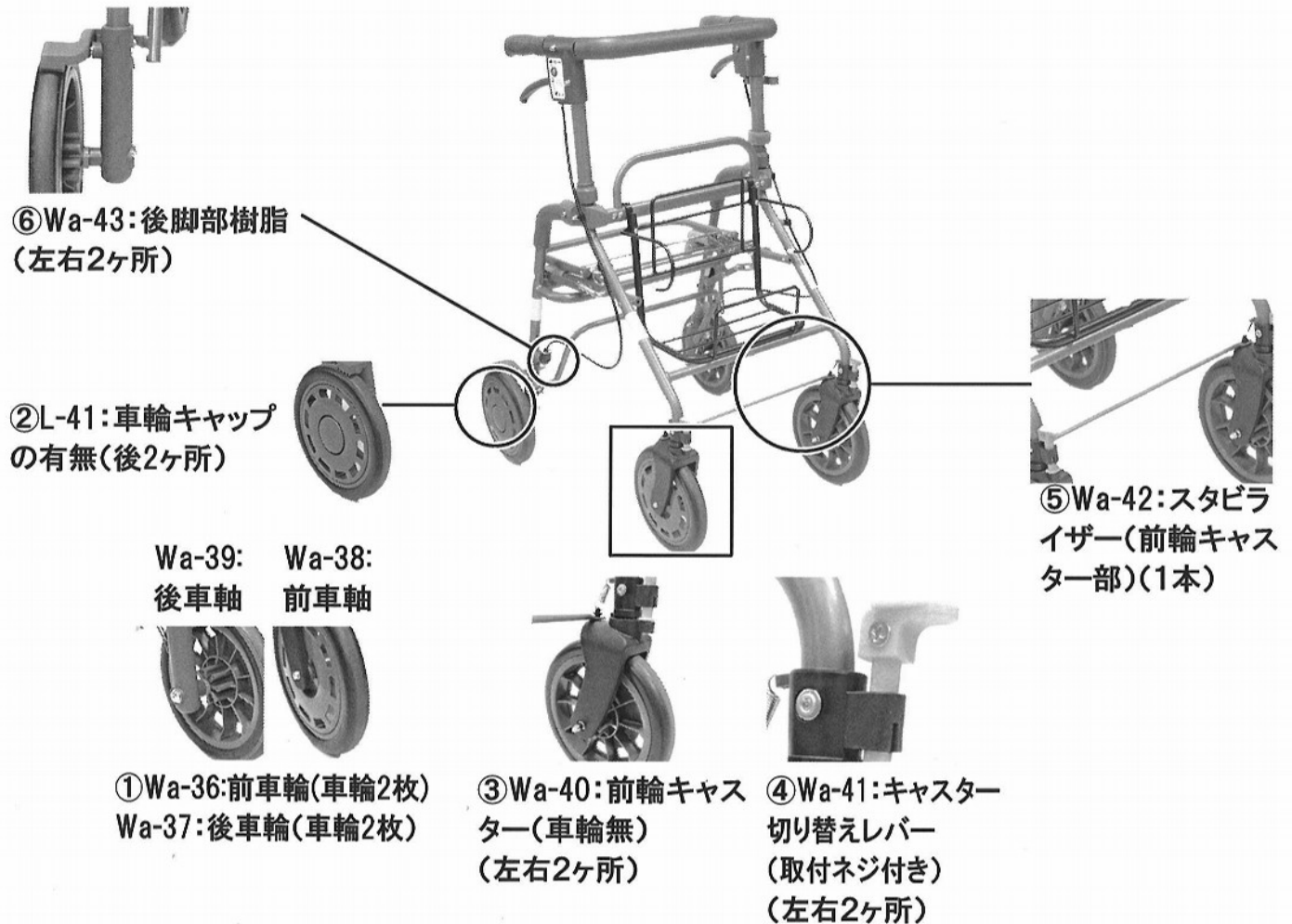


③E-13:ハンドル高さ調節
ピン(左右2ヶ所)



VIII.車輪系統の点検

- 樹脂のひび割れや傷・汚れ、車輪の摩もうの点検をしてください。
- ゆがみや錆がないか点検してください。
- ◎割れていたり摩もうが激しい場合は交換してください。
(パーツ交換マニュアル18～20ページ参照)



車輪系統可動部の性能点検

※出来る限り水平な場所で点検してください



- ①Wa-38:前車輪
(車輪2枚)がスム
ーズに回転する
- ②Wa-39:後車輪
(車輪2枚)がスム
ーズに回転する

●車輪と軸部分の汚れを拭き取り、油を2、3
滴車輪と軸部分の間に注入してください。



③Wa-41:キャスタ
ー切り替えレバ
ー(取付
ネジ付き)が上下に可
動する(左右2ヶ所)

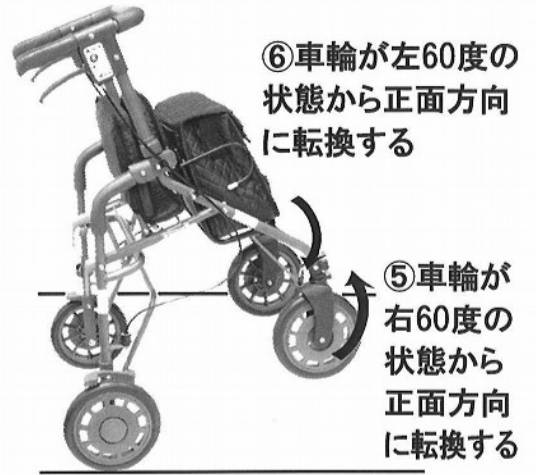
④Wa-41:キャスタ
ー切り替えレバ
ー(取付
ネジ付き)が左右60度
の切り替え位置で固
定される(左右2ヶ所)
※キャスター切り替え
レバーを引き上げた状
態を指します

⑤Wa-41: キャスター切り替えレバーが左右60度の切り替え位置で前輪を右60度位置に保ち、前輪を持ち上げた時、スムーズに前輪が正面方向に転換する→左右2ヶ所



⑥Wa-41: キャスター切り替えレバーが左右60度の切り替え位置で前輪を左60度位置に保ち、前輪を持ち上げた時、スムーズに前輪が正面方向に転換する→左右2ヶ所

※キャスター切り替えレバーを引き上げた状態で確認



⑦Wa-41: キャスター切り替えレバーを固定位置で車体を押した時、Wa-36: 前車輪(車輪2枚)とWa-37: 後車輪(車輪2枚)が空回りせず可動する→前後4本



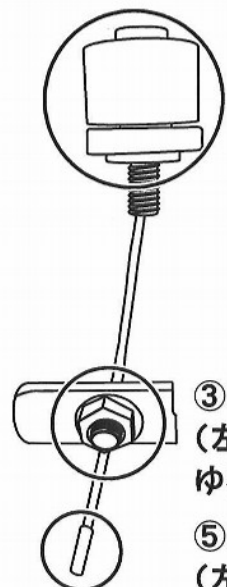
※キャスター切り替えレバーを下げた状態で確認



IX. ブレーキシステムの点検

●ブレーキ系統各部の傷や割れ、その他の点検をしてください。
 ◎傷や割れ、抜け落ちがある場合は交換してください。
 (パーツ交換マニュアル21～25ページ)

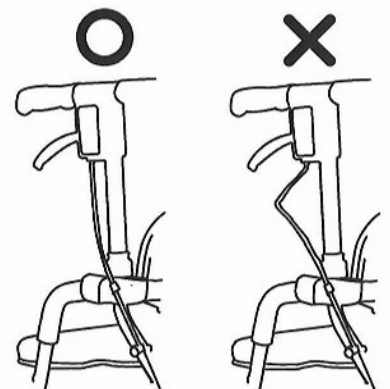
①L-74: ブレーキレバー (左右2ヶ所)



④51: ワイヤー調整ネジ (左右2ヶ所)

③50: ワイヤー止めナット (左右2ヶ所)の抜け落ちやゆるみがない

⑤52: ブレーキワイヤーエンドかぶせ (左右2ヶ所)が抜け落ちていない



②Wa-44: ブレーキワイヤー(左右2ヶ所)の折れ曲がりや錆がない

X.溶接部分の点検

溶接部分のがたつきや外れがないか点検してください。

◎溶接部分にがたつきや外れが見つかった場合は、

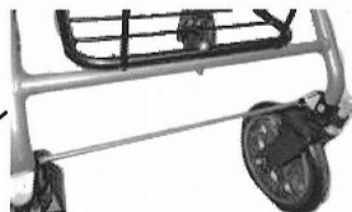
メーカーに修理を依頼してください。

(修理料金一覧表参照)

②後脚ブレーキ調整部
(51:ワイヤー調整ネジ
部分)(左右2ヶ所)



①前脚下部(50:ワイヤー
止めナット部分)
(左右2ヶ所)



⑦バッグ受け本体フレーム
(Wa-12:バッグ受けベース
フレーム部分)(左右8ヶ所)



③座面受け部(左右2ヶ所)



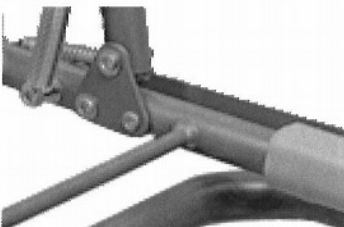
⑥座面受け可動部パイプ
(バッグ側左右2ヶ所)



④座面受け後部U字型
パイプ(左右2ヶ所)



⑤座面受け可動部パイプ
(折りたたみレバー側 左右2ヶ所)



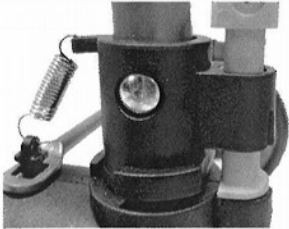
⑧ブレーキプレート
(左右2ヶ所)



XI. リベット部の点検

すべてのリベットが正常にかしめられているかを点検してください。
 ●リベットの先端部がきれいにカールしているかを確認してください。
 ●錆やがたつき、はずれがないか点検してください。
 外れがある場合には、メーカーに修理を依頼してください。
 (修理料金一覧表参照)

① キャスター切り替えレバー部
樹脂部(取付ネジ付き)
(左右2ヶ所)



② 前脚と座面受け可動パイプ
つなぎ部(左右2ヶ所)



③ 本体折りたたみバネかけ部
座面受け可動パイプ側
(左右2ヶ所)

④ 座面折りたたみバネかけ部
(左右2ヶ所)



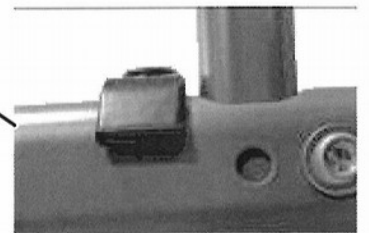
⑤ 座面折りたたみ可動パイプ
三角板部(左右6ヶ所)



⑥ 本体折りたたみバネ
かけ部(プレート)
(左右4ヶ所)



⑦ バッグ受け本体フレーム
と背もたれパイプつなぎ部
(左右2ヶ所)



⑧ 背もたれパイプ部
(左右4ヶ所)



XII. フレームの点検

フレームのゆがみ、がたつきはないか点検してください。
 ◎歪みが見つかった場合は、メーカーに修理を依頼してください。
 (修理料金一覧表参照)

XⅢ. 駐車用ストッパ(座面連動プレート)システムの点検

駐車用ストッパ(座面連動プレート)システム各部にリベットの錆や外れがないか点検をしてください。

◎駐車用ストッパ(座面連動プレート)システム各部にリベットの錆や外れが見つかった場合は、メーカーに修理を依頼してください。(修理料金一覧表参照)



①座面連動プレート (7カ所)



②本体折りたたみバネかけ部(プレート)ストッパつなぎプレート (2カ所)

XⅣ. 駐車用ストッパ(座面連動プレート)ブレーキシステムの可動部性能点検

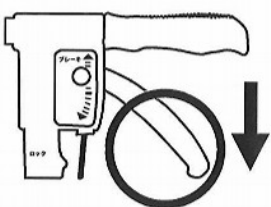
◎違和感や異常が見つかった場合は、ブレーキ設定をやり直してください。(パーツ交換マニュアル3ページ参照)ブレーキ設定をやり直しても改善されない場合はメーカーに修理を依頼してください。(修理料金一覧表参照)



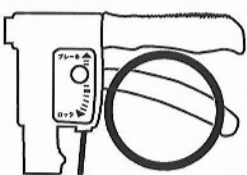
①車体をひろげた状態で座面の上げ下げを行い、座面連動プレートがスムーズに可動する



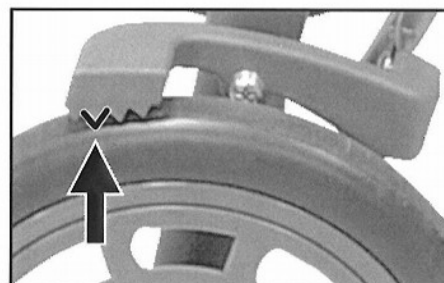
②車体をひろげて座面を下げた状態でブレーキタイヤ押さえがしっかりと両車輪(※下図矢印部分)を押さえている



③ブレーキレバーを下にさげて駐車用ストッパかけた時、両車輪がロックされる
ブレーキレバーを下げた状態で、ブレーキタイヤ押さえが後車輪(※右図矢印部分)に押し当たるか



④ブレーキレバーを握った時、両車輪に均等にブレーキがかかる
⑤ブレーキレバーを握った時に、レバーが固くない
ブレーキレバーが固い場合は、ブレーキワイヤーが折れ曲がっていることがあります。(パーツ交換マニュアル22ページ参照)

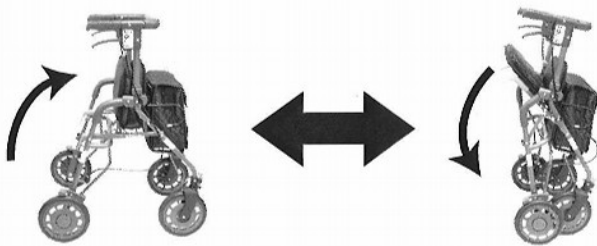


↑部分が車輪を押さえていることを確認して下さい
※ブレーキタイヤ押さえが後車輪に押し当たっていないときはブレーキ設定の必要な場合があります。(パーツ交換マニュアル3ページ参照)

XV. フレームの開閉点検

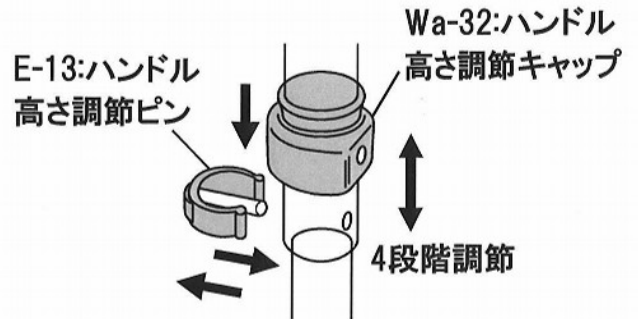
◎違和感や異常が見つかった場合は、メーカーに修理を依頼してください。(修理料金一覧表参照)

- ①スムーズに車体を折りたたむことが出来る
 - <車体を折りたたむ>片手でハンドルを持ちながら、折りたたみレバーを下げてください。
- ②フレームを折りたたみ、手を離しても車体は自立している
- ③スムーズに車体を開くことが出来る
 - <車体を組み立てる(開く)>片手でハンドルを持ちながら、折りたたみレバーを引き上げてください。



XVI. ハンドルの高さ調節部点検

- ①ハンドル高さ調節キャップがスムーズに上げ下げ出来る
- ②ハンドルの高さを調節する時、スムーズに上げ下げ出来る
 - 左右のハンドル高さ調節キャップを上げ、次にハンドル高さ調節ピンを抜き、高さを合わせ、左右のハンドル高さ調節ピンをしっかりとめ込みます。最後に、左右のハンドル高さ調節キャップを下の位置に戻します。



XVII. 走行点検

車体を走行させるなど、①～④の走行点検行ってください。

◎違和感や方向転換ができないなど異常が見つかった場合は、メーカーに修理を依頼してください。(修理料金一覧表参照)

- ①キャスター切り替えレバーを固定位置で前輪キャスターを固定した状態で、違和感無く車体を押せる
 - 平らな所に車体を置き、左右のハンドルグリップ部分を突き押しします。
- 2～3m程走行し、真っ直ぐ進むか確認して下さい。



- ②キャスター切り替えレバーが左右60度の切り替え位置にて前輪キャスターを左右60度ずつ動かせる状態で車体を動かし、スムーズに左右60度ずつに方向転換が出来る

- ③車体を自然に走行させながら、左右のブレーキレバーを握り、車体を制動させることが出来る



- ④車体を広げ、静止させた状態で、尚且つ座面を上げた状態で左右のブレーキレバーを下げたときブレーキロックがかかり車体を制動させることが出来る



XVIII. 点検の終了にあたって

- ・バッグ部の3点をフレームに装着してください
- ・バッグに取扱説明書を入れてください

車体の保管・お手入れ・廃棄について

※保管・お手入れについて

- 火気の近くでの保管はしないでください。
- 非常口や消火器類の前での保管はしないでください。
- 雨ざらしにしないでください。錆や劣化の原因となります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。
- 長期間使用しない場合は、高温多湿の場所は避けてください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグなどの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- メンテナンスが終了した車体であっても、長期間保管していた場合は、再度、メンテナンスチェックリストによる点検作業を行ってください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。